

寺 報

No.710

令和8年10月

発 蓮
華
行 寺

御 聖 訓

一切衆生なくば、衆生無辺誓願
度の願おこし難し。
『四恩鈔』



(解 説)

一般に、法事を行う代表の人やお寺に寄付などをする人を施主といいます。

自分が役に立つ事があれば、他の人の為に何かしたいという布施の心は皆様お持ちでしょうが、この時の気持ちは何か「してあげる」ではなく「させて戴く」という心構えでなければいけません。

それは、どんなに良い事をしたくても、それを受けて下さる人がいなければ施しは出来ないからです。

ですから日蓮大聖人も「この世に一切の生き物がいなければ、全ての物を救おうとする【衆生無辺誓願度】の願いを起す事は出来ないのだ」と教えます。『度』とは我々を悟りの世界に導く事です。

お釈迦様や日蓮大聖人は、今この時でも我々を仏様の世界に導こうと常に願っています。

そういう意味では、皆お釈迦様や日蓮大聖人から大きな施しを受けているのです。

今月は『御会式』の月です。

御会式は日蓮大聖人の大切なご命日法要の日です。我々が法華経・お題目を唱え、この施しに感謝する事が何よりのご報恩になるのではないのでしょうか。

御会式

十月二十五日(日)

午後一時より

※法要終了後、ご法話あり



一年ぶり『大平上人』がお話をします。乞う御期待！

※本年は、第七百四十五回目のご法事に当ります。

檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へご報恩の誠を尽しましょう。

※お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

※先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

※お供物も受付けています。

※法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

「御会式」には

必ず参拝しよう

弘安五年(一二八二)十月十三日の午前八時、数々の迫害にも堪え、我々にお題目の信仰を教えられました日蓮大聖人は、東京は池上の地で六十一歳のご生涯をもつて御入滅されました。

翌十四日はご葬儀、十五日には池上で荼毘(火葬)に付され、日蓮大聖人の「いづくにて死に候とも、墓をば身延沢にせさせ候べく候」のご遺命により、お骨は百ヶ日忌の日に身延山へ納められました。

この時以来、毎年日蓮大聖人のご命日忌には、弟子や信者達が法要を営み、ご報恩の誠を捧げてきました。そのご命日忌に行われます法要儀式を『御会式』と呼んでいます。

本来は、仏教各宗派の読経・説法の集まりをいう『法会の儀式』の略称で、敬語の「御」を付け「御会式」としたのであります。

つまり、昔は特に日蓮宗に限って用いられた言葉ではなかったのですが、日蓮大聖人の数々の偉業、偉大さまたご人徳により、大聖人の『御会式』の法要だけが有名になり、他の宗派のものは影をひそめてしまい、

「御会式」といえば日蓮大聖人のご命日である」といわれるまでになったのです。

特に池上本門寺の『御会式』は、全国より沢山の信者が集まり、前日のお逮夜には万灯をかつぎ、笛で調子を取りカネ・太鼓を叩く万灯行列が出て、交通規制がかかる程の盛況ぶりとなります。

ですから、この余りの賑やかさに、これが日蓮大聖人のご法事とは知らないで、逆にお祝ごとだと思っている人達も沢山いるそうです。

皆様が法事をする時は、しめやかにごそかにお勤めを行なうものですが、我々は日蓮大聖人の唱えられたお題目によって、自身もまたご先祖様も救われている事に感謝し、

「お祖師様(日蓮大聖人)ご安心下さい。みんな元気に教えの通りお題目を唱えていますよ。どうぞこの様子をみて下さい。」

とご報告し、自信を持って日蓮宗信徒としての証しを示していかなければなりません。どうか『御会式』の法要には必ず参拝し、自らの報恩感謝の気持ちを、日蓮大聖人に現わそうではありませんか。

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』のご祈禱を行っています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・令和二年生れの女兒

◎五歳・令和四年生れの男児

◎三歳・令和六年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願ひまして、日蓮宗の特別のご祈禱をお受け下さい。

時間は約二十五分くらいです。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物・御神酒一升(ご本人の名前を書く)



「日蓮宗大荒行堂」入行の挨拶



この度、蓮華寺住職であり、私の師父でもある角田堯淳上人よりお許しを頂き、11月1日より翌年2月10日までの寒杓百日間、「日蓮宗大荒行堂」へ入行させて頂くこととなりました。

荒行堂は、千葉県市川市中山にございます中山法華経寺内に位置しております。すべての日蓮宗の僧侶に課せられる修行ではなく、自らが発心し、志して入る修行です。

毎朝2時に起床し、1日7回（3時・6時・9時・12時・15時・18時・23時）の水行を行います。その他の時間は、ただひたすらお堂に籠り、読経と写経に励みます。

今回私は、初めての荒行である「初行（二回目）」として入行致します。何度も荒行を経験された先輩僧の方々でも、「一番辛いのは初行」と言われるほど、この一度目の修行は肉体的にも精神的にも過酷なもの聞いております。

私が入行を決意したのは、加持祈祷によって檀信徒の皆様への救いとなり、これまで頂いた恩を少しでもお返ししたいと思ったからであります。

まずは最初の35日間、「自行」の期間として自ら向き合い、己の修行に励みます。これまで自分が犯してきた過ちや罪を振り返って反省し、仏様の前で心から悔い改める「懺悔滅罪」に励みます。そして、お題目をお唱えし、諸天善神のご加護を頂きながら自らの身を清浄にし、その身をもって檀信徒の皆様へ分け与えることを行い、修行によって得た功德を皆様へ分け与えることができる僧侶となることを目指します。

初めてということもあり、一年の中で最も寒い時期に、綿の白衣と麻衣の二枚だけで過ごし、足袋を履くことも許されません。また、長時間の正座や水行による身体への負担、1日2時間ほどの睡眠、1日2度の僅かな食事など、不安なことばかりです。

しかし、極限の状態に陥った時こそ、決して我を出さず、ただひたすら修行に励み、自分自身が試されているという気持ちで耐え抜きたいと思えます。そして、皆様のお顔や励ましのお言葉を思い返しながら、様々な困難を乗り越えて参りたいと思えます。

遠く離れた青森の地ではございますが、無事に寒杓百日間を全うできますよう、応援して頂ければ幸いです。

入行に際してのお願い

◎当山副住職『角田堯現上人』も準備がある為、十月の下旬には出発する予定ですので、入行のお祝い・御餞別をお納めの方は、二十日頃迄に必ず住所・氏名・電話番号を忘れずにお書きになりまして、本人が事務所迄お持ち下さい。

百日成満後に記念品等のお返しがありますので、よろしくお願い致します。

◎また堯現上人が荒行堂内で、夜勤の時『百日間』読経・読み上げを致します「百日間特別祈願」「百日間特別供養」「百日間特別御法楽」をお願いしたい方はこの機会を逃さず是非お申し込み下さい。

- 一、御祈願・御供養 一件・・・三万円
- 一、諸天善神御法楽 一件・・・三万円

共にお札が付きます。

ご希望の方は、事務所にあります専用の申し込み用紙に目的・住所・氏名・年令・電話番号を明記の上お早目にお願致します。

檀信徒研修会のお知らせ

☆十月十七日（土）

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦（三十分）と唱題行（三十五分）』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂（イス席です）

持参品・・・聖典（事務所）・数珠・太鼓（所有の者）

*月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪（反省）の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

『提灯』の募集！

当山で『御会式』『鬼子母神大祭』『お正月』に下げます『提灯』（トロー）を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

竜ノ口御法難会

十月十三日(火)

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ(お萩)・春はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

*お供物も受け付けます。

②『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー 《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎令和九年度「暦」
一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】
必ずご予約をお願いします。
☎776-5840

十月の行事

一日(木)『盛運祈願会』 午後一時より

・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。

・お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。

・檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日(火)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六(真読・漢字読み)

十三日(火)『竜ノ口御法難会』 午後一時より

十七日(土) 甲子『大黒様の日』 朝のお勤め中

十七日(土)『檀信徒研修会』 午後七時より

二十五日(日)『妙見小祭』 朝のお勤め中

二十五日(日)『御会式』 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

二十三日(金)『御会式』の準備・・・午前九時より

・一般檀信徒の皆様・教宣部男女
部と檀信徒の皆様がの奉仕で作られています。
どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様へのご
報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

*教宣部男性は大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の準備になります。

二十五日(日)『御会式』のお手伝い

・教宣部男女・・・午前十時より

二十六日(月)『御会式』の後片付け

・教宣部男女・・・午前十時より
*大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け
②『御会式』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。
教宣部員以外の檀信徒の方も歓迎致します。
時間までにお出下さい。 教宣部長・杉淵昌三

お え しき 御 会 式

*法 要

十月二十五日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講 師：日蓮宗霊断師会・指導局長
広島市・龍華寺住職

大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香をしましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。